

I N D E X

- 研究成果報告会のご案内
- ゲノムコホート研究に関する公開シンポジウムのご案内
- 名古屋シンポジウムー構造生理学最前線ーのご案内  
ー2012年ノーベル化学賞受賞 Brian Kobilka 教授が来日！ー
- 創薬支援ソフト「myPresto」のご紹介

■研究成果報告会のご案内

JBIC および関連組合が本年度に実施した研究開発事業の研究成果報告会を開催します。どなたでもご参加いただけますが、E-mailによる事前登録が必要です。下記の申込方法に従ってお申し込みください。

座席数に限りがありますので、お早めにお申し込みください。  
皆様の多数ご参加をお待ちしております。

日時：2013年2月12日（火）13：30～17：35

会場：ホテル日航東京（お台場）オリオン

主催：一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム（JBIC）

エピゲノム技術研究組合

次世代天然物化学技術研究組合

参加費：無料

定員：200名

プログラム：

13:30～13:40 開会挨拶

13:40～13:50 来賓挨拶

13:50～15:20

- ◆創薬加速に向けたタンパク質構造解析基盤技術開発 (JBIC)
- ◇創薬加速基盤技術開発における電子顕微鏡技術などによる成果  
名古屋大学細胞生理学研究センター 藤吉 好則
- ◇NMRによる創薬加速技術開発の成果  
東京大学大学院薬学系研究科 嶋田 一夫
- ◇j計算科学による創薬加速技術開発の成果  
大阪大学蛋白質研究所 中村 春木

15:20～15:50

- ◆有用天然化合物の安定的な生産技術開発 (次世代天然物化学技術研究組合)
- ◇有用天然化合物の安定的な生産技術開発  
産業技術総合研究所  
バイオメディシナル情報研究センター 新家 一男

15:50～16:10 休憩

16:10～16:50

- ◆福島医薬品関連産業支援拠点化事業 (JBIC)
- ◇福島医薬品関連産業支援拠点化事業：立ち上げ初年度の進捗  
福島県立医科大学 渡辺 慎哉

16:50～17:30

- ◆後天的ゲノム修飾のメカニズムを活用した創薬基盤技術開発 (エピゲノム技術研究組合)
- ◇エピゲノムを標的とする創薬  
東京大学先端科学技術研究センター 油谷 浩幸

17:30～17:35 閉会挨拶

#### 【申込方法】

下記必要事項①～⑤をメール本文にご記入いただき、件名を「研究成果

「報告会申込」として事務局（[project2012@jbic.or.jp](mailto:project2012@jbic.or.jp)）まで送信してください。お申込みいただいた方へは、後日登録完了通知（受付番号）をメールでお送りします。

- ① 会社名／団体名
- ② 部署／所属
- ③ 参加者氏名（ふりがな）
- ④ 電話番号
- ⑤ メールアドレス

※上記情報は、当該報告会での登録手続き以外には使用いたしません。

**【お問い合わせ】**

事務局（JBIC 内）

〒135-8073 東京都江東区青海 2-4-32 TIME24 ビル 10 階

TEL : 03-5531-8553 E-mail : [project2012@jbic.or.jp](mailto:project2012@jbic.or.jp)

-----  
**■公開シンポジウム「ヒト生命情報統合研究－国民の健康の礎となる大規模ゲノムコホート研究－」の開催について**  
-----

日本学術会議では、本年初めにゲノムコホート研究体制検討分科会を設け、そこでの検討を踏まえ、該当分野の研究体制について提言をおこなってまいりました（HP よりダウンロード可能です）。本提言では、ゲノムコホート研究を従来のコホート研究の亜型ととらえるのではなく、ヒトの生命情報を大規模に収集し統合的に研究するヒトを対象とした新しい研究分野ととらえ、最新の物理化学計測機器により多様な表現型情報を大規模に収集しそれらを統合していくことの重要性が指摘されております。

本シンポジウムでは、このヒト生命情報統合研究の多面的な側面に光を当て、その重要性の議論を通してヒト生命情報統合研究の一般への周知を図るとともに、広く関係される皆様のご意見をうかがう機会にできればと考えております。どうぞ奮ってご参加下さい。

日時：平成 25 年 1 月 23 日（水）10：30～17：30

場所：日本学術会議 講堂 <http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

共催：日本学術振興会産学協力委員会第164ゲノムテクノロジー委員会

後援：日本医学会、日本生化学会、日本免疫学会、日本人類遺伝学会、  
日本分子生物学会、日本癌学会、日本医療情報学会、ヒューマンサイエ  
ンス財団、バイオ産業情報化コンソーシアム、日本バイオインダストリー  
協会、日本製薬工業協会

申込方法についてはホームページで近日中に公開される予定です。

プログラム：

- (1) はじめに：日本学術会議での議論の経緯、統括と提案の報告  
浅島 誠（日本学術振興会 理事）
- (2) 次世代シーケンサーの進歩と大規模ゲノムコホート研究  
菅野 純夫（東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授）
- (3) ヒト生命情報統合データベース構築への課題  
高木 利久（東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授）
- (4) 最先端質量分析を中心としたコホートへの貢献  
田中 耕一（島津製作所田中耕一記念質量分析研究所 所長）
- (5) ビッグデータ：新たな変革の起爆剤  
喜連川 優（東京大学生産技術研究所 教授）
- (6) 大震災からの創造的復興と東北メディカル・メガバンクプロジェクト  
山本 雅之（東北大学東北メディカル・メガバンク機構 機構長）
- (7) 医学・医療の新しい動向ー先制医療と大規模ゲノムコホート  
研究を中心にー  
井村 裕夫（先端医療振興財団 理事長）
- (8) ヒト生命情報統合研究に向けた大規模ゲノムコホート事業の  
推進ー国内外の事例を中心に  
松田 文彦（京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター  
教授）
- (9) 大規模ゲノムコホート研究への期待  
横田 博（第一三共株式会社研究開発本部 参事）
- (10) パネルディスカッション

※プログラムの順番を変更する場合がございます。予めご了承ください。

-----  
■ 「Nagoya Symposium Frontiers in Structural Physiology  
(名古屋シンポジウム)」 構造生理学最前線 開催のご案内  
-----

本シンポジウムは、「名古屋大学細胞生理学研究センター (CeSPI : Cellular and Structural Physiology Institute) の発足を記念する国際会議」と「独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の蛋白質立体構造解析 NEDO 特別講座の国際会議」との合同で開催致します。

本シンポジウムでは、G 蛋白質共役型受容体の構造解析及び G 蛋白質との複合体の解析に成功した功績により 2012 年ノーベル化学賞を受賞された Brian Kobilka 教授、2003 年にノーベル化学賞を受賞された Rod MacKinnon 教授をはじめとして、構造生理学分野における代表的な研究者 (海外 21 名、国内 10 名) をお招きしてご講演いただきます。

また、ポスター発表による意見交換の場も設けております。

このような世界をリードする研究者が一堂に会する機会にはありませんので、奮ってご参加ください。

尚、ご参加の際は、お手数ですが参加申込みの登録をお願いします。

主催：名古屋大学細胞生理学研究センター(CeSPI)

共催：独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

後援：日本電子株式会社 (JEOL)

日時：2013 年 1 月 22 日 (火) - 24 日 (木)

場所：名古屋大学豊田講堂

参加費：無料 (バンケット参加費 2,000 円)

申込締切：2012 年 12 月 20 日(木)

プログラム、申込方法等の詳細は下記をご覧ください。

<http://symposium.cespi.nagoya-u.ac.jp/JP/index.html>

参加登録はこちらから

<http://symposium.cespi.nagoya-u.ac.jp/JP/registration.html>

【お問い合わせ】

名古屋シンポジウム事務局

sp.hotta@cespi.nagoya-u.ac.jp

TEL : 052-747-6794

---

■創薬支援ソフト「myPresto」のご紹介

---

従来のコンピュータシミュレーション技術では、十分な効果をもち医薬品となり得る化合物の取得は困難とされておりましたが、myPrestoは従来に比べて100倍以上高い効果を示す医薬品候補化合物の取得を可能にしました（NEDOプレスリリース [http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5\\_100126.html](http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_100126.html)）。

myPrestoは、製薬以外にも、化粧品、食品、塗料、素材化学等の分野での利用も期待されております。

myPrestoは、経済産業省及び独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構より委託を受け、大阪大学蛋白質研究所の中村春木教授を中心として開発を進めております分子シミュレーションソフトウェアで、下記公開サイトからダウンロードして無償でご利用いただくことができます。

《myPresto 公開サイト》

●一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム

<http://www.jbic.or.jp>

●大阪大学蛋白質研究所プロテオミクス総合研究センター

<http://www.protein.osaka-u.ac.jp/>

●独立行政法人産業技術総合研究所バイオメディシナル情報研究センター  
タンパク質構造解析チーム

<http://unit.aist.go.jp/birc2/protein/presto/index.html>

●NEDO 特別講座

<http://nedo.cespi.nagoya-u.ac.jp/about.html>

◎myPresto 関連ソフト「MF myPresto」

MF myPresto はベンチャー企業の株式会社フィアラックス社が開発した

myPresto 用の GUI ソフトウェアです。

<http://fiatlux.co.jp>

---

---

●JBIC に関するご意見、ご質問、お問い合わせはこちらから。

<https://www.jbic.or.jp/roku/voicebox/input.html>

---

---

●配信中止、変更はこちらから。

[https://www.jbic.or.jp/roku/m\\_chushi/input\\_ch.html](https://www.jbic.or.jp/roku/m_chushi/input_ch.html)

---

---

●発行:一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム

JBIC めるまが編集部 <http://www.jbic.or.jp/>

---

---

Copyright(c) 2012 JBIC. ALL rights reserved.